

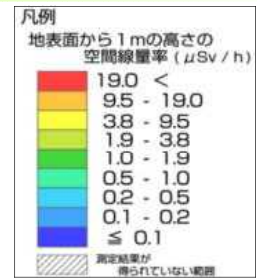
分野	対策項目	対策状況
試験研究	(前ページから) 農林水産関係の放射線対策に係る研究	<p>○シイタケ原木の指標値検査結果分布マップの作成</p> <p>前出（1 監視・測定 野生の山菜・きのこなど分野）の指標値検査に供されたシイタケ原木採取地を地図ソフト上にポイントし、放射性セシウム検査結果の濃度区分別に表示した分布マップを作成しました。令和3年には、より見やすいようにリニューアルを行っています。</p> <p>このマップを生産者に示すことで、原木入手先の汚染状況がわかり、原木手配の参考となります。</p> <p>マップは、これからも適宜更新作業を行っていきます。</p> <p>問合せ先：県林業試験場（TEL 027-373-2300）</p> <hr/> <p>○原木シイタケ栽培における放射性セシウム低減技術 〈効率的に放射性物質を低減する栽培管理の実証〉</p> <p>汚染状況の異なる原木シイタケほだ場において、汚染状況の把握に関する実証試験及び各種資材により汚染を低減する実証試験を行いました。</p> <p>非汚染ほだ木設置後2年経過時点で、空間線量0.05マイクロシーベルト毎時程度のほだ場ではほだ木への汚染がなく、被覆材及び敷設材使用の有無に関わらず、非汚染ほだ木を使用することで環境による汚染を考慮しなくてもよいことが明らかになりました。一方、0.13マイクロシーベルト毎時程度のほだ場では環境による汚染があり、被覆材及び敷設材の併用により放射性セシウム濃度を低減できることが明らかになりました。また、浸水作業時における二次汚染の影響は、ほとんどないことがわかりました。</p> <p>上記以外の試験研究成果は、次のHPを参照してください。 <a href="https://www.pref.gunma.jp/07/p13710024.html">https://www.pref.gunma.jp/07/p13710024.html</a></p> <p>問合せ先：県林業試験場（TEL 027-373-2300）</p>
	工業製品関係の放射線に関する試験	<p>○工業製品の放射線量測定試験</p> <p>県では、本県製造業を支援するため、県内の工業製品の輸出や国内での取引に当たって、放射線量測定や証明書の添付を求められる事例への対応として、群馬産業技術センターにおいて、工業製品の放射線量測定を実施しています。</p> <p>現在までに高い放射線量が測定された事例はありません。</p> <p>問合せ先：県庁地域企業支援課 (TEL 027-226-3352)</p> <div data-bbox="1077 1160 1412 1594" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1082 1608 1407 1639">工業製品の放射線量測定</p>

# IV 資料

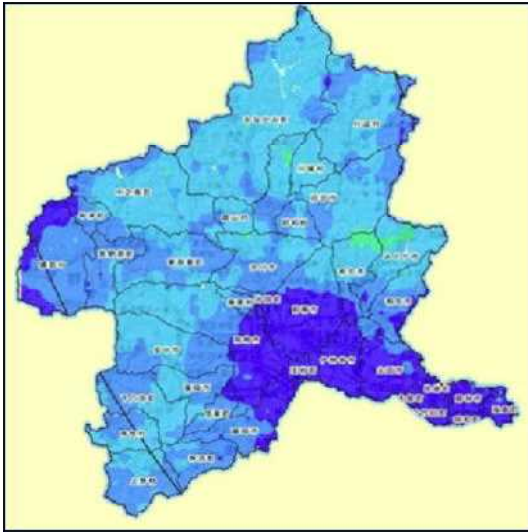
各項目ごとの、平成23年度～令和2年度までの検査結果について、記載します。

## 1 一般環境

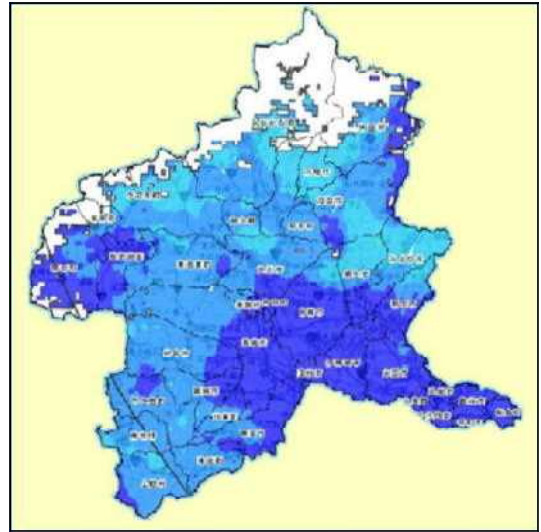
### (1) 航空機モニタリング調査



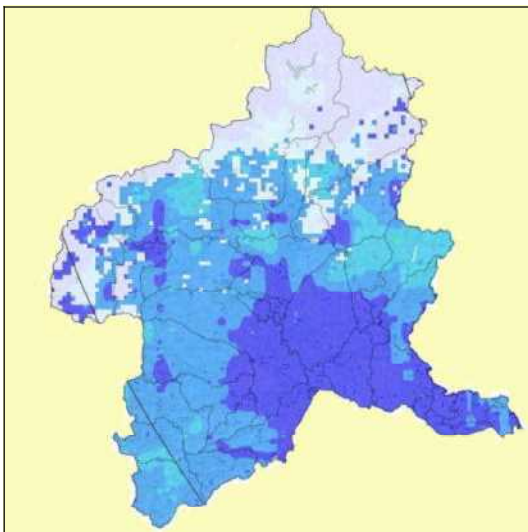
第1回（平成23年9月）



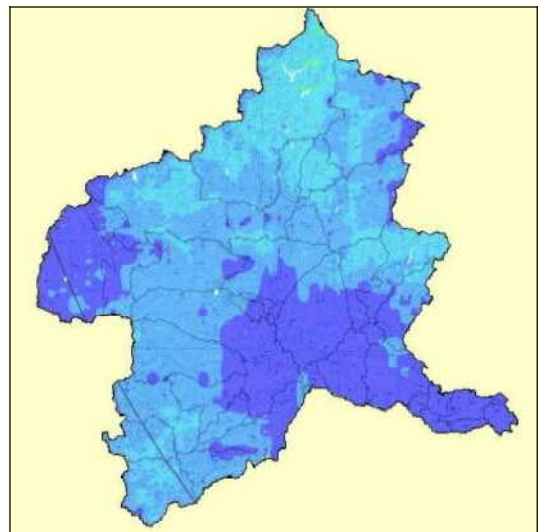
第2回（平成24年5月）



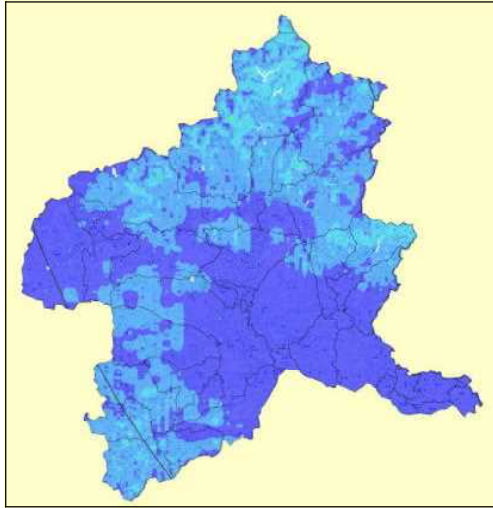
第3回（平成24年12月）



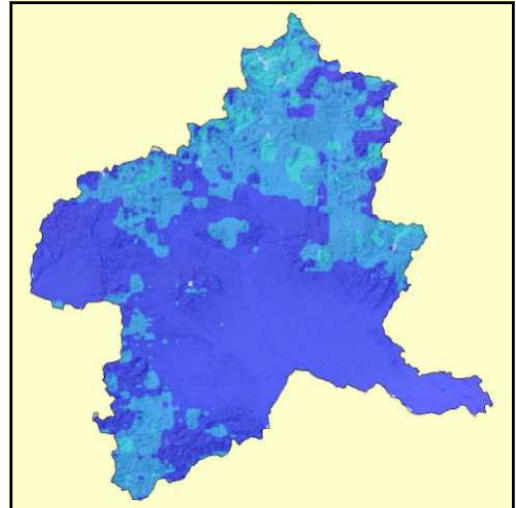
第4回（平成25年11月）



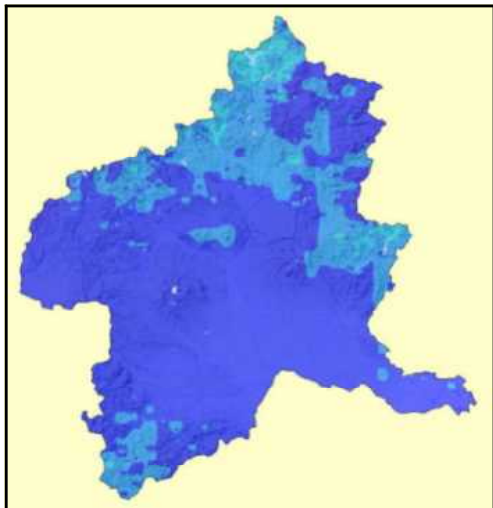
第5回（平成26年11月）



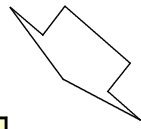
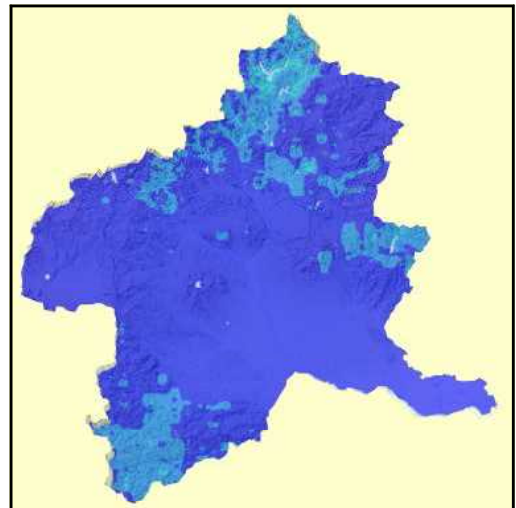
第6回（平成27年11月）



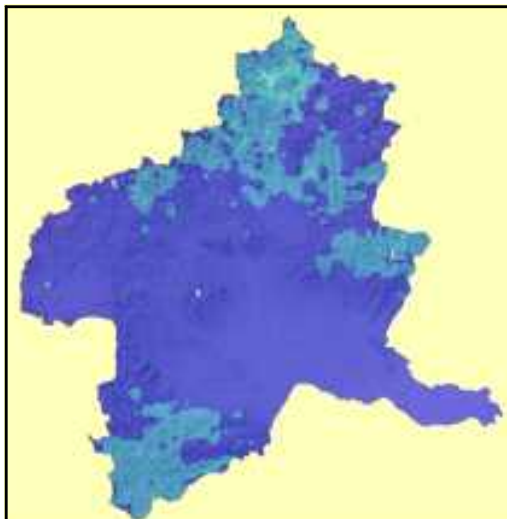
第7回（平成28年11月）



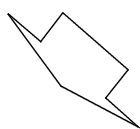
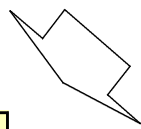
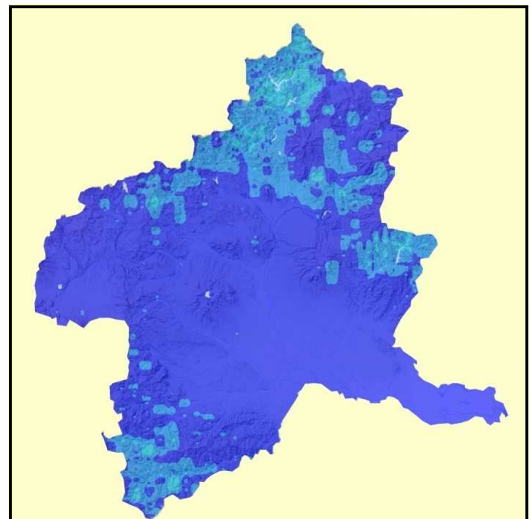
第8回（平成29年11月）



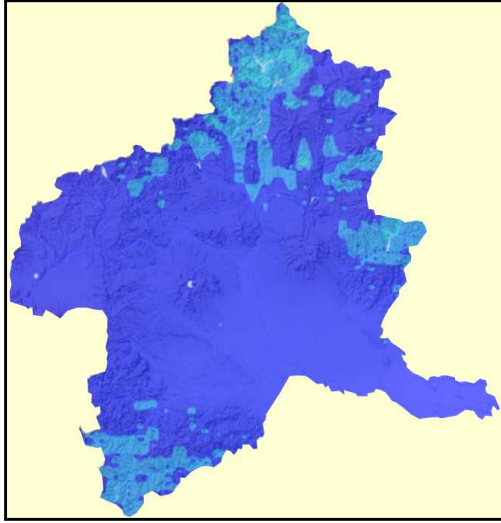
第9回（平成30年11月）



第10回（令和元年11月）

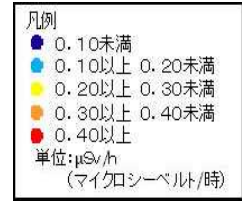


第11回(令和2年10月)

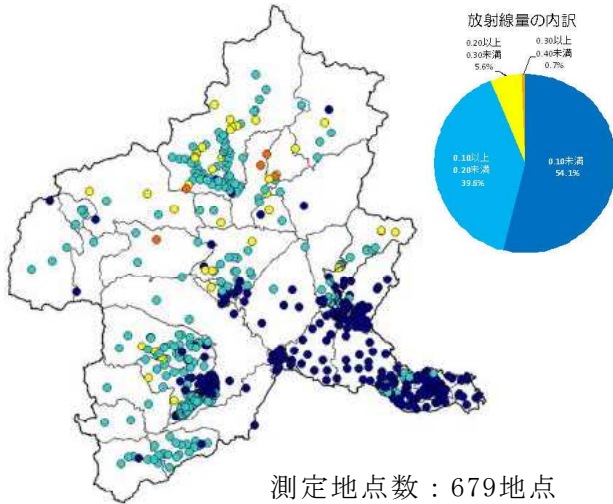




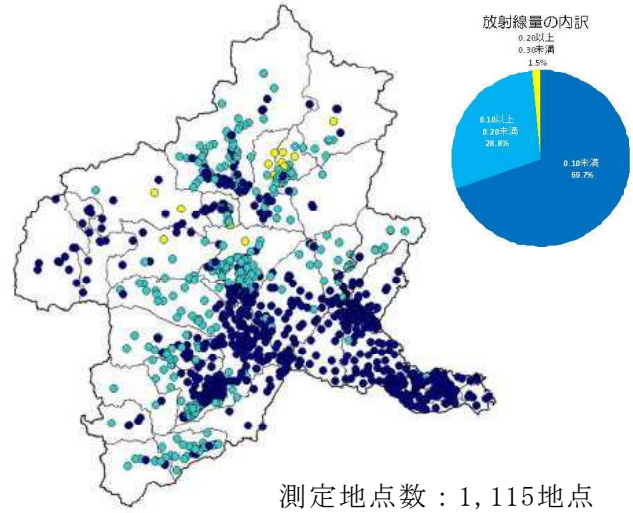
## (2) 生活圏における広域調査 ○群馬県放射線マップ



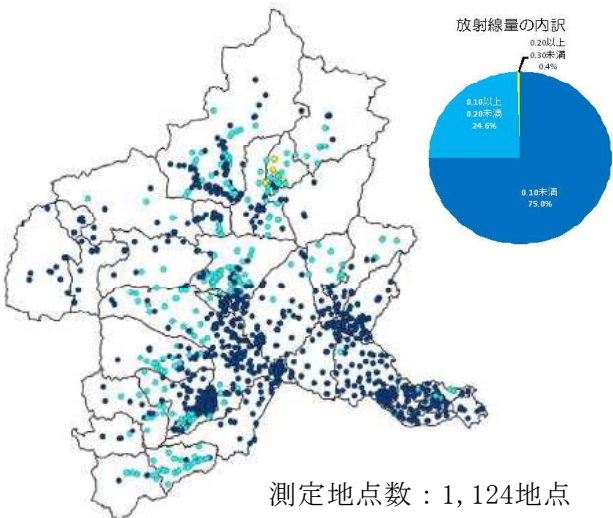
第1回 (平23年9月30日)



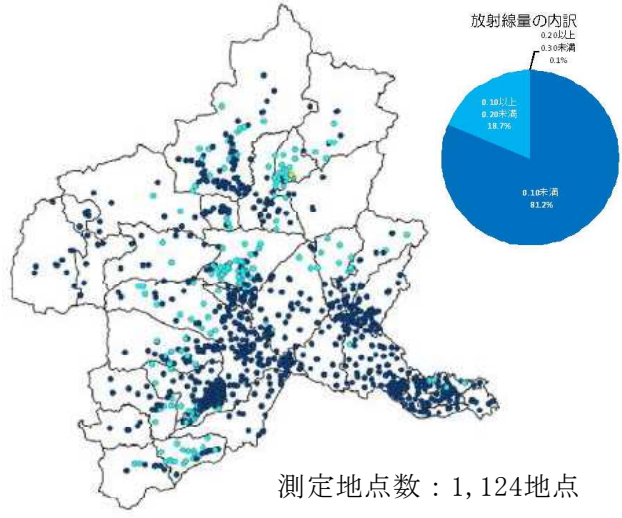
第2回 (平成24年9月30日)



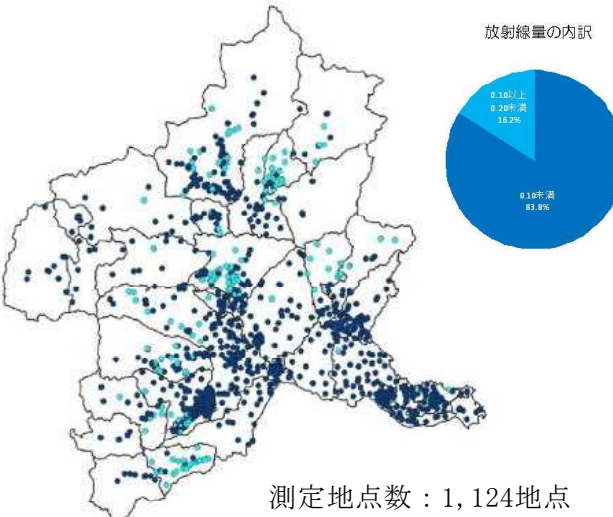
第3回 (平成25年5月31日)



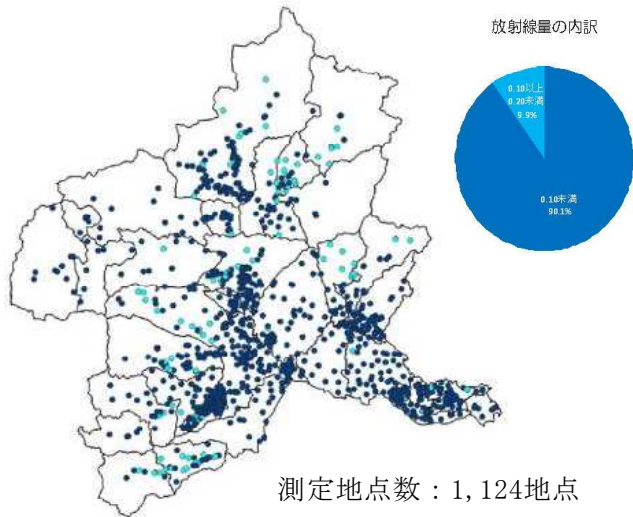
第4回 (平成25年11月30日)



第5回 (平成26年5月31日)



第6回 (平成26年11月30日)



## 2 水道水

### (1) 水道水

検査期間	検査対象	検査頻度	検出状況
H23.3.18～ H23.9.9まで	衛生環境研究所蛇口水	1回／日	放射性セシウム 1.20Bq/kg (最大値、H23.3.20)
	県企業局浄水場水道水	3回／週程度	放射性ヨウ素 62Bq/kg (最大値、H23.3.24)
H23.9.10～ H24.3.31まで	衛生環境研究所蛇口水	1回／日	全て検出下限値未満 (不検出)
H24.4.1～ H25.3.31まで	衛生環境研究所蛇口水	1回／週	全て検出下限値未満 (不検出)
H25.4.1～ R元.8.26まで	食品安全検査センター蛇口水	1回／週	全て検出下限値未満 (不検出)

※飲料水基準値 10Bq/kg (平成24年3月までの暫定規制値200Bq/kg)

## 3 農林水産物

### (1) 農産物

年度	区分	検体数	基準超過数	超過品目
平成22年度 (3月20～31日)	野菜	41	3	ハウレンソウ カキナ
平成23年度	穀類	160	0	
	野菜	448	0	
	果実	68	0	
	工芸作物	38	3	茶
	加工品	7	0	
平成24年度	穀類	754	0	
	野菜	710	0	
	果実	142	0	
	工芸作物	28	1	茶
	加工品	4	0	
平成25年度	穀類	277	0	
	野菜	496	0	
	果実	74	0	
	工芸作物	26	0	
	加工品	5	0	
平成26年度	穀類	165	0	
	野菜	417	0	
	果実	56	0	
	工芸作物	22	0	
	加工品	4	0	
平成27年度	穀類	124	0	
	野菜	313	0	
	果実	43	0	
	工芸作物	10	0	
	加工品	2	0	

(次ページへ)

年度	区分	検体数	基準超過数	超過品目
平成28年度	穀類	120	0	
	野菜	243	0	
	果実	26	0	
	工芸作物	9	0	
	加工品	2	0	
平成29年度	穀類	67	0	
	野菜	88	0	
	果実	24	0	
	工芸作物	4	0	
	加工品	1	0	
平成30年度	穀類	38	0	
	野菜	49	0	
	果実	25	0	
	工芸作物	4	0	
	加工品	1	0	
令和元年度	穀類	28	0	
	野菜	41	0	
	果実	20	0	
	工芸作物	4	0	
	加工品	0	0	
令和2年度	穀類	23	0	
	野菜	35	0	
	果実	14	0	
	工芸作物	3	0	
	加工品	0	-	

## (2) 畜産物

### ア 原乳

年度	検体数	基準超過数
平成23年度	110	0
平成24年度	150	0
平成25年度	140	0
平成26年度	125	0
平成27年度	120	0
平成28年度	125	0

※原乳は平成28年度で終了

### イ 牛肉

年度	検体数	基準超過数
平成23年度	9,964	0
平成24年度	14,103	1
平成25年度	14,133	0
平成26年度	14,751	0
平成27年度	13,269	0
平成28年度	13,432	0
平成29年度	13,338	0
平成30年度	12,919	0
令和元年度	12,430	0

※牛肉は令和元年度で終了

## ウ 豚肉・鶏肉

年度	区分	検体数	基準超過数
平成23年度	豚肉	11	0
	鶏肉	5	0
平成24年度	豚肉	24	0
	鶏肉	8	0
平成25年度	豚肉	24	0
	鶏肉	8	0
平成26年度	豚肉	24	0
	鶏肉	8	0
平成27年度	豚肉	24	0
	鶏肉	8	0
平成28年度	豚肉	24	0
	鶏肉	8	0
平成29年度	豚肉	12	0

※鶏肉は平成28年度、豚肉は平成29年度で終了

### (3) 水産物（養殖魚）

検査数

年度	イワナ	ヤマメ	ニジマス	ギンヒカリ	ハコスチ	アユ	コイ	計
平成23年度	4	3	7	4	-	2	4	24
平成24年度	21	18	26	17	-	5	0	87
平成25年度	14	13	24	14	-	1	4	70
平成26年度	22	22	27	17	-	2	0	90
平成27年度	16	17	20	13	-	1	0	67
平成28年度	16	14	19	13	4	3	0	69
平成29年度	14	18	23	11	6	2	0	74
平成30年度	11	11	18	8	6	3	0	57
令和元年度	9	9	17	6	7	2	0	50
令和2年度	9	8	18	16	9	3	0	63

### (4) 栽培きのこ

年度	区分	検体数	基準超過数
平成23年度	原木生しいたけ	43	0
	原木乾しいたけ	15	8
	菌床生しいたけ	24	0
	菌床乾しいたけ	1	0
	他	37	0
平成24年度	原木生しいたけ	90	0
	原木乾しいたけ	12	0
	菌床生しいたけ	55	0
	菌床乾しいたけ	14	0
	他	76	0

(次ページへ)



年度	区分	検体数	基準超過数
平成25年度	原木生しいたけ	83	0
	原木乾しいたけ	2	0
	菌床生しいたけ	76	0
	菌床乾しいたけ	13	0
	他	92	0
平成26年度	原木生しいたけ	84	0
	原木乾しいたけ	0	0
	菌床生しいたけ	92	0
	菌床乾しいたけ	15	0
	他	85	0
平成27年度	原木生しいたけ	72	0
	原木乾しいたけ	0	0
	菌床生しいたけ	70	0
	菌床乾しいたけ	12	0
	他	93	0
平成28年度	原木生しいたけ	82	0
	原木乾しいたけ	3	0
	菌床生しいたけ	76	0
	菌床乾しいたけ	12	0
	他	75	0
平成29年度	原木生しいたけ	109	0
	原木乾しいたけ	6	0
	菌床生しいたけ	37	0
	菌床乾しいたけ	2	0
	他	31	0
平成30年度	原木生しいたけ	134	0
	原木乾しいたけ	16	0
	菌床生しいたけ	20	0
	菌床乾しいたけ	1	0
	他	14	0
令和元年度	原木生しいたけ	134	0
	原木乾しいたけ	10	0
	菌床生しいたけ	17	0
	菌床乾しいたけ	9	0
	他	10	0
令和2年度	原木生しいたけ	216	0
	原木乾しいたけ	11	0
	菌床生しいたけ	19	0
	菌床乾しいたけ	3	0
	その他	16	0

## 4 野生の山菜・きのこなど

### (1) 野生の山菜・きのこ

年度	区分	検体数	基準超過数
平成23年度	野生きのこ	5	0
	野生の山菜	8	0
平成24年度	野生きのこ	25	6
	野生の山菜	39	2
平成25年度	野生きのこ	1	0
	野生の山菜	38	2
平成26年度	野生きのこ	0	0
	野生の山菜	27	2
平成27年度	野生きのこ	6	0
	野生の山菜	31	0
平成28年度	野生きのこ	1	0
	野生の山菜	21	0
平成29年度	野生きのこ	0	0
	野生の山菜	30	0
平成30年度	野生きのこ	0	0
	野生の山菜	102	27
令和元年度	野生きのこ	0	0
	野生の山菜	61	1
令和2年度	野生の山菜	71	0
	野生のきのこ	0	0

### (2) 水産物（河川・湖沼）

年度	イワナ	ヤマメ	アユ	ワカサギ	ウグイ	コイ	ナマズ	計
平成23年度	24	49	2	24	7	1	0	107
平成24年度	45	104	25	23	0	0	1	198
平成25年度	86	185	11	43	4	0	0	329
平成26年度	70	117	11	65	0	0	0	263
平成27年度	51	84	11	67	0	0	0	213
平成28年度	58	88	11	39	0	0	0	196
平成29年度	71	88	10	20	0	0	0	189
平成30年度	64	87	9	14	0	0	0	174
令和元年度	46	85	8	14	0	0	0	153
令和2年度	52	86	8	13	0	0	0	159

### (3) 野生鳥獣

年度	区分	検体数	基準超過数
平成23年度	ツキノワグマ	4	1
	イノシシ	56	39
	ニホンジカ	41	19
	鳥類	10	0
平成24年度	ツキノワグマ	80	44
	イノシシ	60	20
	ニホンジカ	46	19
	鳥類	32	4

(次ページへ)

年度	区分	検体数	基準超過数
平成25年度	ツキノワグマ	45	25
	イノシシ	31	10
	ニホンジカ	138	38
	ヤマドリ	0	0
平成26年度	ツキノワグマ	55	18
	イノシシ	36	10
	ニホンジカ	68	24
	ヤマドリ	0	0
平成27年度	ツキノワグマ	34	18
	イノシシ	26	4
	ニホンジカ	63	23
	ヤマドリ	2	0
平成28年度	ツキノワグマ	34	17
	イノシシ	73	14
	ニホンジカ	74	4
	ヤマドリ	5	0
平成29年度	ツキノワグマ	16	11
	イノシシ	80	13
	ニホンジカ	46	6
	ヤマドリ	1	1
平成30年度	ツキノワグマ	11	9
	イノシシ	41	11
	ニホンジカ	36	2
	ヤマドリ	0	0
令和元年度	ツキノワグマ	13	6
	イノシシ	33	3
	ニホンジカ	27	0
	ヤマドリ	0	0
令和2年度	ツキノワグマ	9	4
	イノシシ	24	2
	ニホンジカ	25	0
	ヤマドリ	0	0

## 5 流通食品

### (1) 流通食品

年度	乳・乳製品	小麦粉製品	大豆製品	生鮮野菜等	清涼飲料水	農産物加工品	生鮮魚介類	酒類	鶏卵	乳児用食品	弁当・そうざい	食肉製品	その他	合計	基準値超過数※
平成23年度	20	10	2	11	2	14	5	-	-	-	-	2	-	66	0
平成24～令和2年度	116	111	69	30	105	206	33	4	19	16	49	44	84	886	0

## 6 学校給食

### (1) 給食用食材

年度	検体数	検査結果			延べ実施 団体数
		検 出		検出下限値 未満	
		50Bq/kg以上	50Bq/kg未満		
平成24年度	2,230	0	7	2,223	1,795
平成25年度	1,484	0	1	1,483	1,197
平成26年度	1,096	0	2	1,094	855
平成27年度	897	0	1	896	742
平成28年度	751	0	0	751	632
平成29年度	687	0	1	686	571
平成30年度	106	0	0	106	80
令和元年度	58	0	0	58	42
令和2年度	29	0	0	29	22

### (2) 提供給食

年度	区分	市町村	検査結果
平成24年度	5月28日～9月14日（計9週間分）	川場村・館林市	全て検出下限値未満
	9月18日～11月16日（計9週間分）	草津町・桐生市	全て検出下限値未満
	11月19日～2月15日（計9週間分）	渋川市・甘楽町	全て検出下限値未満
平成25年度	9月30日～10月25日（計4週間分）	渋川市・安中市	全て検出下限値未満
	10月29日～11月22日（計4週間分）	沼田市・上野村	全て検出下限値未満
	11月25日～12月20日（計4週間分）	神流町・高山村	全て検出下限値未満
	1月14日～2月7日（計4週間分）	東吾妻町	全て検出下限値未満
	1月14日～1月24日 （計4週間分）	館林市	全て検出下限値未満
	2月10日～2月21日 1月27日～2月21日（計4週間分）	邑楽町	全て検出下限値未満
平成26年度	5月12日～7月18日（計10週間分）	沼田市・安中市	全て検出下限値未満
	9月1日～11月7日（計10週間分）	館林市・渋川市	全て検出下限値未満
	11月10日～2月6日（計10週間分）	高山村・邑楽町	全て検出下限値未満
平成27年度	9月14日～11月13日（計8週間分）	沼田市・高山村・邑楽町	全て検出下限値未満
	11月16日～1月29日（計8週間分）	渋川市・安中市	全て検出下限値未満

## 放射線に関する問い合わせ先一覧

分野	対象項目	担当課
一般環境	空間放射線量	環境保全課
	モニタリングポスト	
	降下物	
	公共用水域、地下水	
水道水	水道水	食品・生活衛生課
	県営 浄水場(2浄水場)	(企)水道課
	市町村 浄水場	各市町村
下水汚泥	県 下水処理場	下水環境課
	市町村 下水処理場	各市町村
農林水産物	農産物 (穀類、野菜、果実、特産物)	技術支援課
	農地土壌	農政課
	畜産物 (生乳、牛肉、豚肉、鶏肉)	畜産課
	飼料作物	
	堆肥	
	水産物 (養殖)	蚕糸園芸課
栽培きのこ	林業振興課	
野生	山菜、きのこ (原木しいたけ、ほだ木)	林業振興課
	水産物 (河川、湖沼)	蚕糸園芸課
	野生鳥獣 (ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカ、鳥類)	自然環境課
流通食品	流通食品	食品・生活衛生課
	持ち込み食材	各市町村
	検査機器貸与 (国民生活センター関係)	消費生活課
給食	学校	(教)健康体育課 各市町村
	保育所	私学・子育て支援課
廃棄物	指定廃棄物	廃棄物・リサイクル課
健康への影響	健康への影響	感染症・がん疾病対策課
原子力事業者との連絡体制 (覚書の締結)	東京電力 福島第一、第二原子力発電所 柏崎刈羽原子力発電所	危機管理課



## V 内容の更新

県内の放射線対策は、現在も日々進捗しています。放射能汚染の問題は多くの分野にわたっており、今後とも対策を総合的に推進していくためには、情報の共有化が一層重要となります。また、対策の進捗状況が常に分かるようにしておくことが重要です。

こうした要請に応えられるよう、群馬県放射線対策現況は、今後もおおむね年に1回内容を更新し、常に県全体の姿が見えるようにしていきたいと考えています。

本県の放射線対策が引き続き円滑に推進できますよう、皆さまの御協力をお願いします。

<群馬県庁HPにおけるURL>  
<https://www.pref.gunma.jp/05/e0900115.html>

---

**群馬県放射線対策現況**  
令和3年12月 第10版

---

編集・発行 群馬県環境森林部環境保全課  
〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号  
電 話 (027) 226-2836(直通)  
F A X (027) 243-7704

---